

新津混声合唱団

伝統ある女声コーラスグループ「花梨」を母体に、男性を加えて結成された合唱団です。

団員は、四十五名で、市民が中心ですが、歌好きな人が数名市外からも参加しています。

音符が読めなくとも、指揮者の巧みな指導と、楽しい雰囲気



11月の定期演奏発表会

作りのおかげで確実に上達してきました。

県の合唱連盟にも加入し、毎年行われている新潟県合唱祭にも参加し、その度に大きな感動を得て来ました。

昨年十一月に、かねてからの念願でした「定期演奏会」を本町二番館で開催したところ、四〇名を超える来場者があり、予想をはるかに上まわる成果をあげることができました。

今後、歌・人共に、すばらしいハーモニーを築きたいものと団員一同張り切っています。男性も含めて、歌うことの好きな方ならどなたでも大歓迎です。これまでの演奏曲目は、誰にでも親しまれている名曲が中心ですが、いつの日か、大曲に取り組み、オーケストラと共演することを夢見ています。

連絡先 山谷町二 甲田キミ

(二二一〇五七五)

ボランティア

お菓子の会

昭和六十年に、社会福祉団体として登録され、今年で十一年目になりました。現在、会員数は二十五名、四十代・六十代の女性を中心に構成されています。活動内容は、月に一度、勤労青少年ホームに集まり、季節に応じた色々なお菓子を作り、社

会福祉施設の「新栄学園」と「山の家」に届けています。

また、お菓子作りの好きな人達の集まりでありますので、自分たちの好きなお菓子を作ったり、講習会も開いています。

私達の会の目的は、気楽な気持ちでお菓子作りを学ぶとともに、ボランティア活動に参加して、援助が必要な方々に喜んでいただくことです。活動を通して、多くの人と知り合えることも会員の喜びになっています。



施設への手作りお菓子サービス

昨年は、市から褒賞をいただきました。これを励みとして、これからも楽しく活動が続けたいと願っています。

私達といっしょに、お菓子作りを楽しみませんか。初心者の方も歓迎いたします。

連絡先 新町一 吉田佳世子

(二二一七六三四)

サークル さつき

私達の会は、中央婦人学級から昭和六十年四月に独立し、会の名前を新津市推奨の花木である花の名前から「サークルさつき」と名付け、毎月一回、定例会を開いています。

中央婦人学級で学んできたことを基礎に自主学習をしています。会の目的は、「豊かな暮らしを築くため、地域社会にかかわる婦人として、家庭生活の問題等を共に語り、よりよい家庭生活、社会人を目指して学習していく」としてあります。

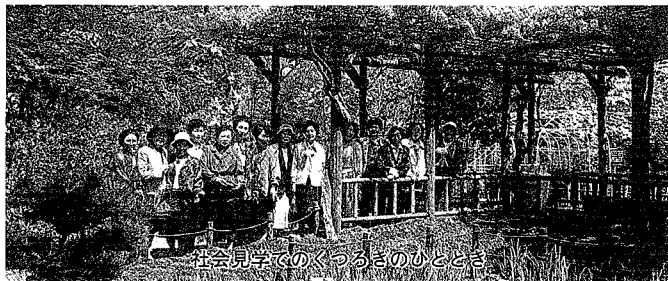
具体的には、春の親睦を兼ねた社会見学に始まり、講演会、会員の研究発表、楽しみながらの手芸やストレッチ体操、また市議会傍聴等々、いろいろな分野にわたって学習しています。

昨年は、環境にやさしい「廃油せっけん」を作って配り、皆さんに喜ばれました。

間もなく十年を迎えます。これを節目に、これからも社会に関心を持ちながら、自分達の足元を見つめて学習していきたいと思っています。関心のある方のご連絡ください。

連絡先 吉岡町 森山房子

(二四一〇四六八)



社会見学でのくつろぎのひととき



又栄二ツも男女共生時代

新潟女子ラグビークラブ

昭和六十一年十一月に、新潟市で行なわれた「女性のためのラグビー教室」に参加した仲間が発足した新潟女子（オナゴ）ラグビークラブの新津支部です。昨年五月から新津第三小グラウンドで、毎週土曜日、午後二時から四時まで練習しています。

野妻会

子連れ主婦が中心で、まだ、ラグビーとは言えないようなボール遊びクラブです。

女子ラグビーは、全国に三十余りのチームがあり、東京に、日本女子ラグビー連盟の本部を置き統一を目指しています。

年に一度、十一月二十三日に江戸川区競技場で、女子ラグビーの交流大会を行い、ラグビーマンの意識向上を図っています。会員は、新潟市にある母体のチームと合わせて二十六名、交流大会を目標に、練習しています。女性は、女性なりのラグビーが出来ます。どなたでも、気軽に参加して下さい。ストレス解消に最高です。空の下で、土の上で、子供に戻ったつもりで泥ん子になってみませんか。

連絡先 山谷町一 田中のみ

(二二五一九二八)



リ＝ダーバンクの講師を呼んでの学習会

を行っています。なかなか全員が顔を合わせるといふことはありませんが、月に一回学習会を楽しみにそれぞれ都合をつけて毎回十人程集まっています。

今までは、市の保健課主催の栄養改善講習会、保健や介護についてなど、ほとんどが保健婦さんをお願いしての学習会でしたが先日、リーダーバンクを利用して初めて講師をお呼びして

青少年赤十字活動

新関小JRC委員会

代表六年 渡辺雅之

学習会を行いました。

一年たった今、正直なところ何をやっていこうか考えることも多いのですが、積極的なリーダーバンクも利用し、会員の交流と学習を深めていきたいと思っています。

連絡先 野方 狩谷久子

(二二五一八〇一二六五)

ぼく達JRC委員会は、みんなが気持ちよく学校生活を送れることと、社会のためになる活動をしよというところから全校の青少年赤十字活動の中心になって仕事をしています。

春には、プランターに花を咲かせるために、全校の子どもたちとサルビアとマリーゴールドを植えました。赤と黄の花が十二月まで咲いていました。

畑には、さつまいもを植えました。

夏には、春に植えたいろいろな草花の世話をしてきました。

「花いっぱい運動」といって家にある花を持ってきてもらって廊下にかざりました。

秋には、大きくなったさつまいもを持って「新栄学園」や「かんばらの里」を訪問しました。とても喜んでくれました。



全校の子ども達でマリーゴールドの移植

今は、十一月にもらったサケの卵をふ化させ、稚魚に育てています。もうすこしたつとえさを食べるようになります。サケの観察記録を毎日書いて、来年のJRC委員会が活動しやすいようにしています。もうすこし大きくして三月の末に放流する予定です。

連絡先 下新 新関小学校

(二二一〇九九五)